降誕前第６主日／洗礼式・聖餐式　　No. 47

主日礼拝

2023 年 11 月 19 日
午前 10 時 30 分

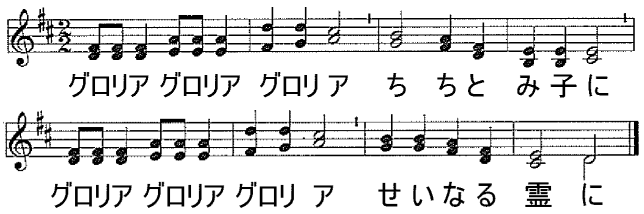
前奏　「主よ,我らを憐れみたまえ」
（J.S.バッハ）

参集　（報告 ・ 紹介 ・ 予定）

招詞

「主に感謝をささげて御名を呼べ。
諸国の民に御業を示せ。
主に向かって歌い、ほめ歌をうたい
驚くべき御業をことごとく歌え。
聖なる御名を誇りとせよ。
主を求める人よ、心に喜びを抱き
主を、主の御力を尋ね求め
常に御顔を求めよ。」　（詩編 105：1～4）

頌栄　26「グロリア」



信仰告白　使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

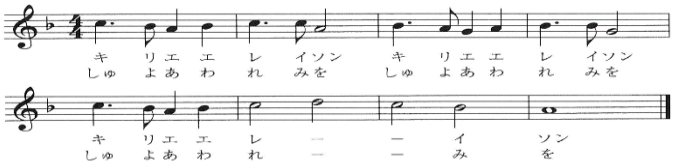
祈祷

献金

主の祈り

天にします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

賛美　32「キリエ・エレイソン」



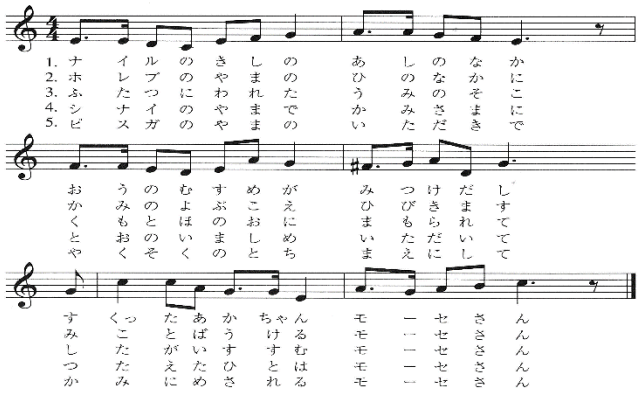
キリエ・エレイソン　キリエ・エレイソン　キリエ・エレイソン
主よ、あわれみを　主よ、あわれみを　主よ、あわれみを

聖書　出エジプト記 2：1～10

旧約(新共同訳)P95

1 レビの家の出のある男が同じレビ人の娘をめ
とった。2 彼女は身ごもり、男の子を産んだ
が、その子がかわいかったのを見て、三か月の
間隠しておいた。3 しかし、もはや隠しきれな
くなったので、パピルスの籠を用意し、アスフ
ァルトとピッチで防水し、その中に男の子を入
れ、ナイル河畔の葦の茂みの間に置いた。
4 その子の姉が遠くに立って、どうなることか
と様子を見ていると、5 そこへ、ファラオの王
女が水浴びをしようと川に下りて来た。その間
侍女たちは川岸を行き来していた。王女は、葦
の茂みの間に籠を見つけたので、仕え女をやっ
て取って来させた。6 開けてみると赤ん坊がお
り、しかも男の子で、泣いていた。王女はふび
んに思い、「これは、きっと、ヘブライ人の子
です」と言った。7 そのとき、その子の姉がフ
ァラオの王女に申し出た。「この子に乳を飲ま
せるヘブライ人の乳母を呼んで参りましょう
か。」
8「そうしておくれ」と、王女が頼んだので、
娘は早速その子の母を連れて来た。9 王女が、
「この子を連れて行って、わたしに代わって乳
を飲ませておやり。手当てはわたしが出します
から」と言ったので、母親はその子を引き取っ
て乳を飲ませ、10 その子が大きくなると、王女
のもとへ連れて行った。その子はこうして、王
女の子となった。王女は彼をモーセと名付けて
言った。「水の中からわたしが引き上げた（マ
ーシャー）のですから。」

賛美　こ）46「ナイルのきしの」



1　ナイルの岸の　あしの中
王のむすめが　見つけだし
すくったあかちゃん　モーセさん

2　ホレブの山の　火のなかに
神のよぶ声　ひびきます
みことばうける　モーセさん

3　二つにわれた　海のそこ
雲とほのおに　守られて
したがい進む　モーセさん

4　シナイの山で　神さまに
十のいましめ　いただいて
つたえた人は　モーセさん

5　ピスガの山の　いただきで
やくそくの土地　前にして
神にめされる　モーセさん

説教　「出エジプトの発端」

洗礼式　常数　晃大さん

序詞・祈り

誓約

司式者：あなたは、イエス･キリストの十字架のあがないによってその罪をゆるされ、救われたことを確信しますか。それゆえ、イエス・キリストを自分の主また救い主として受け入れ、その恵みと愛により頼むことを誓いますか。

志願者：誓います。

司式者：あなたは、キリストの忠実な弟子となって、その御言葉にしたがい、生涯キリストの愛の証人となることをこころざしますか。

志願者：神の助けによってこころざします。

司式者：あなたは、日本基督教団に属する広島流川教会の教会員として忠実にその責務を果たすことを約束しますか。

志願者：約束します。

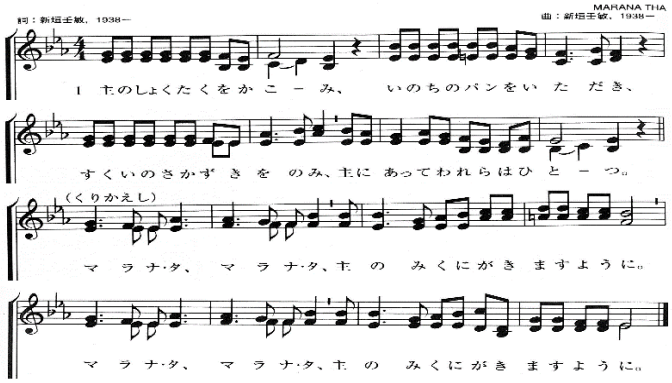
洗礼　会衆の皆さんは、洗礼盤の周りにお集まりください。

会衆の参与

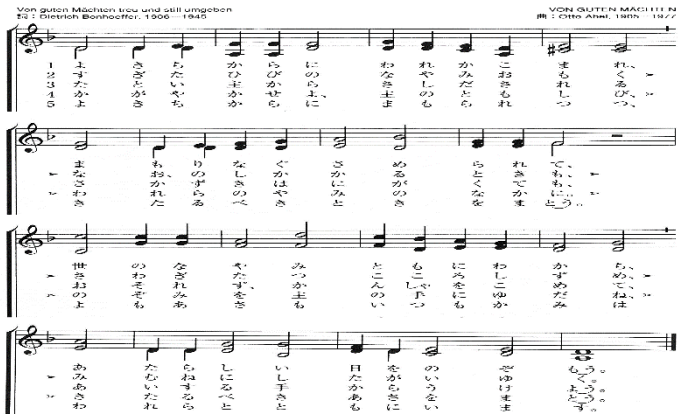
司式者：今、常数晃大さんは洗礼を受けて、私たちの群れに加えられました。
あなたがたは常数晃大さんを、祈りによって支え、愛を持ってその信仰の成長を助けることを約束しますか。

教会員：約束いたします。

聖餐式　81-1「主の食卓を囲み」



賛美　469「善き力に われかこまれ」



1. 善き力に われかこまれ、
守りなぐさめられて、
世の悩み 共にわかち、
新しい日を望もう。

2. 過ぎた日々の 悩みを重く
なお、のしかかるときも、
さわぎ立つ 心しずめ、
みむねに したがいゆく。

3. たとい主から 差し出される
杯は苦くても、
恐れず、感謝をこめて、
愛する手から受けよう。

4. 輝かせよ、主のともし火、
われらの闇の中に。
望みを主の手にゆだね、
来たるべき朝を待とう。

5. 善き力に 守られつつ、
来るべき時を待とう。
夜も朝も いつも神は
われらと共にいます。

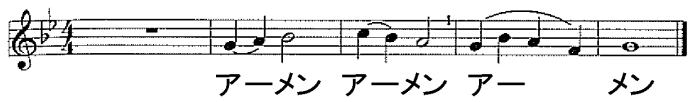
派遣

司式者　主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」

会 衆　わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



後奏　「これぞ聖なる十戒なり」

（J.S.バッハ）

司 式：大代　恵　　奏 楽：玉理　照子
説 教：向井　希夫牧師
助 餐：塩冶 みはる、岡田 知恵子、山野上 純子